



直方市議会議員

やすなが浩之【4つの重点政策】

地域・産業

◆一般県道直方北九州自転車道線

直方市溝掘を起点とし、北九州市若松区安屋を終点とする延長34.6キロメートルの自転車歩行者専用道が、令和元年11月17日に開通しました。自転車活用推進法の施行も契機として、サイクリストの誘客等に積極的な企業を募集・発掘し、「サイクリスト受入推進企業」として登録した企業の情報発信を行うことにより、自転車愛好家(サイクリスト)にやさしい地域づくりを推進しています。

◆筑豊電鉄の延伸

「直方市まちなか公共交通活性化調査業務」において、筑豊電気鉄道のJR直方駅への延伸検討が進められてきましたが、事業実施の可否を判断するに至っていません。今後は、筑豊電気鉄道延伸の事業実施について決断を下すためにも、筑豊電気鉄道をはじめ、関係機関とも協議を進め、延伸ルートの確定や事業概算費等に使用した調査データの更新等の検討を進めていきます。

◆企業誘致

「企業誘致適地調査業務」において、直方市大字植木地区の調査が進められています。造成箇所や企業ニーズ調査、土地利用計画、概算事業費の算出、事業成立性の検討など、検討を進めていきます。

医療・福祉

◆保健福祉センター構想

保健福祉センター構想は、保健福祉施設に、老朽化の著しい他の公共施設を集約した複合施設として検討中です。中心市街地の活性化に寄与できるよう駅周辺への立地可能性を探っています。

◆超高齢化社会の到来に向けて

急速に少子高齢化が進む中、我が国では、平成37年(2025年)にいわゆる「団塊の世代」が全て75歳以上となる超高齢社会を迎えます。本市では、地域の自主活動で週1回「いきいき百歳体操」に取り組む団体の応援や筋力の強化などを短期間に集中して行うことで介護保険からの卒業を目指すことができる方に行っている通所型サービスCの実施に力を注いでいます。また、先進地視察等を通じて、高齢者やその家族が住み慣れた地域において安心して暮らし続けることができるよう、地域の関係団体等と連携・協働して、医療・介護・予防・住まい・生活支援を切れ目なく提供していくことを目指す地域包括ケアシステムの更なる整備に取り組んでいます。



皆様にお約束したことについて

進捗状況を報告します!

教育・文化

◆全国学力・学習状況調査の結果

調査開始以来、昨年度までの本市は、全国や福岡県の平均値を下回っていました。本年度の調査結果では、小学校、中学校ともに昨年度と比べ上昇しました。特に、小学校国語において、調査開始以来、初めて全国平均値を上回りました。ふくおか学力アップ推進事業配置の非常勤講師を活用した分割授業・少人数指導の実施を徹底した効果が大きく、来年度以降の講師配置継続を要望しています。

◆小中学校施設整備事業

市内全15小中学校への空調設備設置事業(普通教室及び一部の特別教室へのエアコン設置工事)が完了しました。

◆幼児教育の無償化

令和元年10月から、幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子どもたちの利用料が無料になりました。また、0歳から2歳までの子どもたちについては、住民税非課税世帯を対象として利用料が無料になりました。



防災・減災

◆消防本部の体制強化

消防本部において、従来、消防長が消防署長を兼務していましたが、強固な消防体制の構築いわゆる消防活動の強化に努めるため、消防署長の専任を行いました。

◆遠賀川の防災対策工事

遠賀川河川事務所では、平成30年7月出水を踏まえ、引き続き、本川水位低下を図る河道掘削等を促進するとともに、直方市街部の堤防整備や遠賀川中流部の河道掘削、芦屋町山鹿地区の堤防整備の3地区に新規着手するなど、遠賀川水系の治水対策をさらに促進しています。河川改修費には、平成30年度が26億8百万円であったのに対し、平成31年度(令和元年度)は39億65百万円と、約1.5倍もの予算が生まれ、河道掘削や築堤整備などを実施し、早期に治水安全度の向上を図っています。



【直方市の大型事業】直方市が現在着手している事業、今後、実施予定の事業についてご紹介します。

《現在着手している事業》

- ①中泉中央市営住宅の建設
4棟189戸を計画。現在1棟目が完成。R2年度2棟目が竣工予定。
- ②し尿処理場の建て替え
総事業費約34億円、令和2年度完成予定です。
- ③小野牟田・野添線の新設
総事業費約15億円、道路事業として実施中であり、令和3年度工事完了予定です。

《今後、実施予定の事業》

- ①保健福祉センター(複合施設)建設事業
保健福祉施設に、老朽化の著しい他の公共施設を集約させた複合施設として整備予定です。中心市街地の活性化に寄与できるよう駅周辺への立地可能性を探っています。
- ②公営住宅建替事業
財政状況をみながら、老朽化の進んでいる住宅の集約化を図り、建て替えを検討していきます。

③直方市庁舎の改修事業

築29年が経過し、随所に老朽化が見られます。平成25年度に作成した直方市庁舎設備長寿命化計画に基づき順次改修を進めています。

④芝原ポンプ場整備事業

築52年が経過し老朽化が著しいため、ポンプ場の改築や導排水路等の整備計画の見直しを検討し、中心市街地の雨水浸水対策を行います。

⑤植木メカトロビジネスタウン事業

上頓野産業団地の完売に伴い、整備基本計画を策定しています。

